

2025 年度予算特集号

2025 年の第一回定例会が終了し、来年度予算が決定しました。杉並区はこの3年で人権保障の取組が進み、地域社会の中で誰も排除されないための条例や制度がつくられ、区民のために働く行政職員の職場環境も改善されました（杉並区役所は超過勤務が23区の中でもかなり多い）。来年度予算はさらに人権保障の取組が進んでいくように編成されており、私が所属する立憲民主党杉並区議団もそれを推進するため、予算に賛成しました。

私も議員2年目を終え、任期は残り2年。今回の議会では、これまで私が何度も質問してきた子どもの権利と子どもを取り巻く環境について、大きく一歩を踏み出します。私が議員になる前からずっと子どもの権利について質問してきた他会派の先輩方の「ようやく」の言葉にも、力が込められていたのを感じました。

今回お届けするのは、

- 04 03 懲罰動議とは…？
お知らせ
パブコメ募集、区政報告会
- 02 01 来年度予算について詳しく
谷川俊太郎さんが
名誉区民になりました



議場にて、会派のメンバーと



最新情報はコチラ
<https://teraharu.com/>

◀ 来年度予算について詳しく

☎ 070-1385-3043 ✉ teraharu.minanomachi@gmail.com

寺田陽香 杉並区阿佐谷南1-15-1 区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室
1987年生まれ ▶群馬県高崎市出身 ▶高崎女子高校卒業
▶国際基督教大学(ICU)中退 ▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)
保育士 ▶好き: スケボー、お茶、茨木のり子 ▶3.11を機に、子どもたちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、市民運動に参加 ▶2023年4月、3,906票を託され初当選



4月20日(日) 12:45~14:45
@久我山会館 第1集会室
〒168-0082 東京都杉並区久我山3丁目23-20

4月12日(土) 16:15~18:15
@高井戸地域区民センター第3集会室
〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目7-5

● 区政報告会のお知らせ

レポートには書ききれないこともお話しするとともに、みなさんの暮らしや望むことについてお聞きする機会でもあります。ぜひお気軽にお越しください！

予約不要
直接お越しください
各回定員 20名



● 子ども家庭計画の改定

今回の改定は定期的な見直しによる改定ですが、子どもの権利条例に基づくアソシアート、子どもの居場所づくり基本方針に則った地域ネットワークの強化、2026 年秋に開設予定の区立児童相談所の取組など、見直しポイントがたくさんあります。改定後の計画は 2025 ～ 2030 年度の計画ですが、この5 年の間に若者へのサポートなども検討され、途中で「子ども家庭計画」から「こども計画」へとさらに進化を遂げる予定です。議会では「子どもからも意見が欲しい」という話もありました。ぜひご意見書

いみてくださいな!

3月15日～4月14日

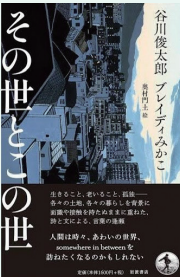
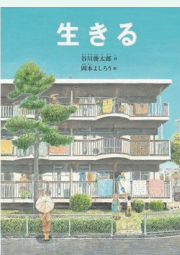
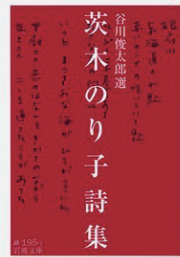
パブコメ募集中

谷川俊太郎さんが名誉区民になりました

谷川俊太郎さんってどんな人？

名誉区民って何？

2024 年11月にご逝去された谷川俊太郎さんは1931年、当時は東京府豊多摩郡杉並町と呼ばれていた今の杉並区で生まれ育った詩人です。中学生の途中で山の手空襲に遭い、京都へ疎開し、戦争が終わった次の年に再び杉並に戻ってきました(通っていたのは豊多摩中学校、今の都立豊多摩高等学校です)。その後、詩集の刊行、記録映画の脚本、外国の絵本や漫画の翻訳、歌詞の作詞など、様々な仕事をされています。杉並区立沼小学校の校歌「世界は不思議でいっぱいだ」も谷川さんが作詞したものです。



名誉区民とは、杉並区の発展やそのほかの公共の福祉の増進、学術や芸術など、広く社会文化が盛んになっていくことに貢献した人で、区民からも尊敬されていると認められるとき、その功績をたたえて、区長から贈る称号です。区長は審議会に意見を聴き、そのあと区議会に同意を求め、同意されたら贈ることが出来ます。(杉並名誉区民条例より)

区立図書館にコーナーが設置され改めた作品に触れた方も大勢いると思います。私の大好きな谷川俊太郎さんがかわる作品をご紹介します。

作品を紹介します



- ①『谷川俊太郎選 茨木のり子詩集』(岩波文庫)
②『生きる』(福音館書店) / ③『その世とこの世』ブレイディみかこ氏との往復書簡 (岩波書店)
④『じぶんだけの いろ』さく・レオ＝レオニ (好学社) / ⑤『うつむく青年』(サンリオ)

03 懲罰動議とは…？ What is a Disciplinary Motion?



議長室での動議提出の場面

懲罰動議とは…？

区議会は、議員がそれぞれの専門性や知識を活かし、区政を批判的に考察して、区民のために必要なこと、もっと良くなる方法などを調査・研究し、言論によって議論を深める場です。しかし、第一回定例会の一般質問において、演台を強くたたいて理事者を威圧した議員がいました。私も目の前で目撃し、とても恐怖を感じました。

議長が2度注意を行いましたでしたが反省の様子がなかったため、議員48名のうち私たち立憲民主党杉並区議団も含めた21名が発議者となり、懲罰動議を提出しました。今定例会では委員会の立ち上げを行い、第二回定例会までの間に何度か審議をしていく予定です。



地方自治法に定められた手続きの流れ

1. 懲罰動議の提出
2. 懲罰特別委員会の設置
3. 委員会で懲罰の種類を決定
4. 懲罰を科すかどうかを本会議で採決
5. 懲罰の執行

懲罰の種類

- 戒告
本会議場で、懲罰の対象者が議長の前に立ち、議長から警告を受ける。
- 陳謝
本会議場で、懲罰の対象者が謝罪を行う。
- 一定期間の出席停止
杉並区は最長7日間、議会での仕事ができない。
- 除名
議員名簿からの除名、失職。(次の選挙には出られない)

令和7年2月21日				
杉並区議会議員 井口かつ子 殿				
田中ゆうたろう議員に対する懲罰動議				
次の理由により、田中ゆうたろう議員に懲罰を科されたいので、地方自治法第135条第2項及び杉並区議会会議規則第111条の規定により動議を提出します。				
記				
理由				
令和7年2月19日の杉並区議会第1回定例会本会議、田中ゆうたろう議員の一般質問において、壇上で大声を上げ、机を叩いて大きな音を出すなど理事者を威嚇する行為がありました。				
よって、杉並区議会会議規則第104条「議員は、議会の秩序及び品位を損じなければならぬ」に抵触しており、懲罰を求めるものであります。				
発議者	杉並区議会議員 ひわき 岳	山田耕平	松本みつひろ	倉本みか
	赤坂たまよ	富田たく	田中朝子	ブランシャール明日香
	前山なおこ	小池めぐみ	鈴木ちづる	松尾ゆり
	松本浩一	和賀みき	奥田雅子	
	安田マリ	酒井まさえ	そね文子	
	たらだはるか	くすやま美紀	山名かなこ	

杉並区の 2025年度予算

歳入 一般会計と特別会計

後期高齢者医療事業会計

162 億 4142 万 4 千円

介護保険事業会計

460 億 4013 万 6 千円

国民健康保険事業会計

521 億 1947 万 8 千円

一般財源

1582 億 4700 万円

国・都支出金

682 億 9500 万円

特別区債

53 億 8800 万円

その他

144 億 8800 万円

総額
3600 億 403 万 8 千円

歳出 部別予算額

環境部

104 億 6294 万 5000 円

総務部

116 億 4465 万 7000 円

区民生活部

146 億 4399 万 2000 円

都市整備部

188 億 5158 万 5000 円

政策経営部

294 億 1367 万 7 千円

保健福祉部

1635 億 657 万円

子ども家庭部

727 億 8752 万 5 千円

教育委員会事務局

386 億 9308 万 7 千円

総額
3600 億 403 万 8 千円

保健福祉部

子ども家庭部

教育委員会事務局

政策経営部

都市整備部

区民生活部

総務部

環境部

健康医療、地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉等

子どもの権利、児童相談、児童福祉、子育て支援、保育等

学校教育、生涯学習、図書館等

施設マネジメント、公民連携、デジタル化等

まちづくり、道路、鉄道立体交差、公共交通、公園、住宅等

地域産業、地域振興、多文化共生、ジェンダー、スポーツ等

防災・防犯、人権、広報、職員人事、契約等

気候変動、脱プラ、清掃、リサイクル等

Source：杉並区令和 7 年度区政経営計画書

てらはるの 注目予算

男女共同参画の推進 男女平等推進センターの運営

今年の 1 月からジェンダー平等に関する審議会も始まり、杉並区においてもジェンダー主流化（すべての施策について、条例や計画、制度設計、事業の検証や評価などあらゆる段階で、ジェンダー平等が達成される手段を用いること）が進んでいくことを期待しています。

男女平等推進センターで行っている DV 相談の専用ダイヤル（03-5307-0622）の受付時間が拡充されます。これまでは月々金すべて 9 時 17 時だったところ水曜日は 20 時まで電話を受け付けるところです。

¥ 男女共同参画の推進 1386 万 2 千円
男女平等推進センターの運営 1822 万 9 千円

子どもの権利擁護の推進

ほんの数年前までは児童館を廃止する時ですら子どもたちの意見を聞いてこなかった杉並区が、子どもの権利を保障するためにこんなに予算をつけているのはとても感慨深いことです。子どもからの意見聴取の取組をさらに拡充し、子どもの権利に関する条例について年代や言語別の解説リーフレットなどが作成されます。

平和事業の推進

戦争体験者の高齢化も進む中、杉並に住む被爆者の証言について映像記録化が進んでいます。戦後 80 年を迎え、杉並区は改めて区内にある戦争に関する構造物や平和施設などを掲載した平和 MAP をつくるなどのこと。歴史に学び、足元から平和をつくる取組を私も進めていきたいです。

¥ 平和事業の推進 1127 万 5 千円 ¥ 子どもの権利擁護の推進 1602 万 3 千円

こんな 新規事業が はじまります！

ひきこもり支援推進事業	1911 万 8 千円
区独自の子ども食堂支援	1420 万円
防災・防犯用品カタログギフトの配布	13 億 6199 万 3 千円
家賃助成制度等による居住支援	3314 万円
再生可能エネルギー電力を活用した「コンテナ型公衆喫煙場所」の整備	3675 万 5 千円
ライフステージに応じた健康づくりの推進	2858 万 5 千円

歳入

質疑の動画 ▶



『困難な問題を抱える女性の支援に関する国庫補助金』

Q 今年度は 10 万 3 千円、来年度は 315 万 8 千円で申請予定となっており大幅な増額。来年度は補助を活用して女性相談調整担当係長の職が新たにできて体制を強化すると聞いたが、どう変わるのか。

A 複雑化する相談内容にもワンストップで対応できるようにしていくため、職員の研修を充実させスキルアップを図るとともに、（保健福祉部内だけでなく）区民生活部、子ども家庭部とも連携する道筋をつくっていきます。

『多文化共生のまちづくり助成金』

Q 杉並区として初めて申請したこの助成金。多文化共生基本方針ができた杉並区で、こういった取組に利用していくのか。

A 日本国籍、外国籍の区民が交流する場をつくります。来年度は交流自治体へ行き農業体験を行い、収穫した野菜などを地域のお祭りで販売し、地域の中で共に生きていくために繋がるきっかけをつくる企画で助成金の申請をしています。



よく！行政答弁の豆知識

検討します…実施に向けて動きます

研究します…やるかどうかも含めて考えます

予算特別委員会でこんなことを聞きました

よく！

保健福祉費・環境清掃費

質疑の動画 ▶



『子どもの権利に関する条例』

Q この間のワークショップは小学生以上がメインだったが、0～6歳の乳幼児についてもすべての権利の対象のはず。乳幼児にはどのように子どもの権利を知らせ、どのように意見を聴くのか。

A 乳幼児期の子どもの意見を聴くことは、国連も指摘しているものと認識しており、大変重要だと考えています。まずは他自治体の先行事例を研究し、研修も重ねながら、こういったやり方が良いか検討していきたいと思っています。

『子どもの居場所』

Q 児童館には中高校生委員会があり、その活動には今年度と来年度同様の予算がついているが、今年どんなことをしてきて、来年度はどんなことをするのか。

A 今年度は通常の活動に加え、委員から提案があり「児童館が中高校生にとってより良い場所になるにはどうするか」といったテーマで、解決策を考えて区に提案を行う取り組みが行われました（1 年かけて調査・研究し、3 月初旬に区長にプレゼンしています）。来年度も、そこに参加している中高校生の意見を大事に尊重して、活動をつくっていきたいと考えています。

生活経済費・総務費

質疑の動画 ▶



『防災と共生』

Q 日常的な防災の取組と震災救援所内での多文化共生の観点での取組について、これまでどんな協議があり来年度はどういった取組を行うのか。

A 国際交流協会と協議を重ね、これまでも外国の方向けまち歩きイベントで起震車を活用したり、外国学校へ防災課職員が出前講座に行ったりしてきました。こうした取組を、工夫しながら続けていきます。

Q 震災救援所での合理的配慮に関してどのように当事者と関わってマニュアルなどをつくってきたのか。来年度各機関との連携を強化する中で、福祉や医療の機関との連携はどう強化していくのか。

A 先日聴覚障害者団体の方と意見交換をし、「こうした方が良い」という意見をいただきました。当事者からの意見は重要と捉えています。消防や警察だけでなく、医療や福祉関係の機関とも図上訓練などを行えるよう研究していきたいと考えています。

『施設マネジメント計画』

Q 富士見ヶ丘中学校の改築完了後すぐに、旧富士見ヶ丘小学校の北側校舎だけでなく、体育館も解体されることが計画に追記された。地元からは防災備蓄や避難についての不安も聞いているが、説明はどうなっているのか。

A 小学校の移転については合意を得ていたが、解体については説明できていなかったところがあります。地元町会など関係する方々にはこれから説明してまいります。



よくかんで、よくたべる!

2025 年度予算特集号

2025年の第一回定例会が終了し、来年度予算が決定しました。杉並区はこの3年で人権保障の取組が進み、地域社会の中で誰も排除されないための条例や制度がつくられ、区民のために働く行政職員の職場環境も改善されました(杉並区役所は超過勤務が23区の中でもかなり多い...)。来年度予算はさらに人権保障の取組が進んでいくように編成されており、私が所属する立憲民主党杉並区議団もそれを推進するため、予算に賛成しました。

私も議員2年目を終え、任期は残り2年。今回の議会では、これまで私が何度も質問してきた子どもの権利と子どもを取り巻く環境について、大きく一步を踏み出します。私が議員になる前からずっと子どもの権利について質問してきた他会派の先輩方の「ようやく」の言葉にも、力が込められていたのを感じました。

今回お届けするのは、



議場にて、会派のメンバーと

01 来年度予算について詳しく

02 谷川俊太郎さんが

名誉区民になりました

03 懲罰動議とは...?

04 お知らせ

パブコメ募集、区政報告会

◀ 来年度予算について詳しく



最新情報はコチラ

<https://teraharu.com/>

杉並区の
2025年度予算てらほの
注目予算男女共同参画の推進
男女平等推進センターの運営

今年の1月からジェンダー平等に関する審議会も始まり、杉並区においてもジェンダー主流化(すべての施策について、条例や計画、制度設計、事業の検証や評価などあらゆる段階で、ジェンダー平等が達成される手段を用いること)が進んでいくことを期待しています。

男女平等推進センターで行っているDV相談の専用ダイヤル(03-5307-0622)の受付時間が拡充されます。これまでは月々金すべて9〜17時だったところ水曜日は20時まで電話を受け付けるところです。

¥ 男女共同参画の推進 1386万2千円
男女平等推進センターの運営 1822万9千円

子どもの権利擁護の推進

ほんの数年前までは児童館を廃止する時ですら子どもたちの意見を聞いてこなかった杉並区が、子どもの権利を保障するためにこんなに予算をつけているのはとても感慨深いことです。子どもからの意見聴取の取組をさらに拡充し、子どもの権利に関する条例について年代や言語別の解説リーフレットなどが作成されます。

平和事業の推進

戦争体験者の高齢化が進む中、杉並に住む被爆者の証言について映像記録化が進んでいます。戦後80年を迎え、杉並区は改めて区内にある戦争に関する構造物や平和施設などを掲載した平和MAPをつくること。歴史に学び、足元から平和をつくる取組を私も進めていきたいです。

¥ 平和事業の推進 1127万5千円 ¥ 子どもの権利擁護の推進 1602万3千円

こんな
新規事業が
はじまります!

ひきこもり支援推進事業	1911万8千円
区独自の子ども食堂支援	1420万円
防災・防犯用品カタログギフトの配布	13億6199万3千円
家賃助成制度等による居住支援	3314万円
再生可能エネルギー電力を活用した「コンテナ型公衆喫煙場所」の整備	3675万5千円
ライフステージに応じた健康づくりの推進	2858万5千円

歳入 一般会計と特別会計

後期高齢者医療事業会計

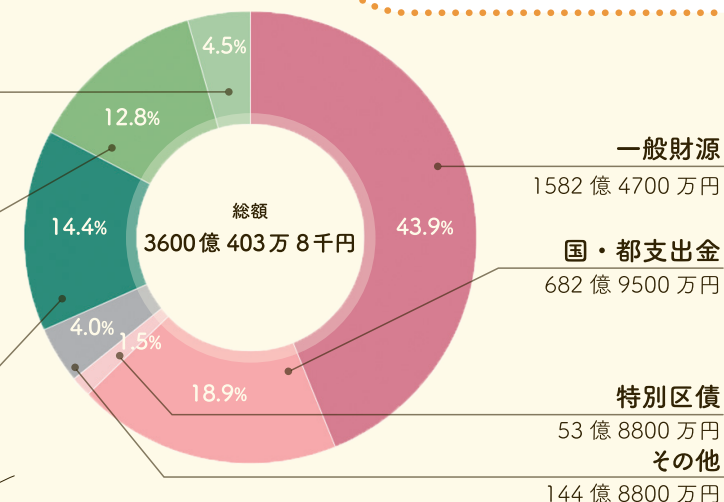
162億4142万4千円

介護保険事業会計

460億4013万6千円

国民健康保険事業会計

521億1947万8千円



歳出 部別予算額

環境部

104億6294万5000円

総務部

116億4465万7000円

区民生活部

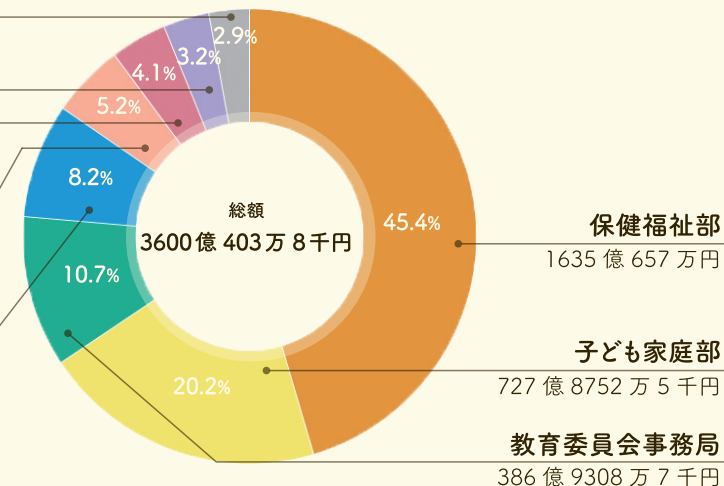
146億4399万2000円

都市整備部

188億5158万5000円

政策経営部

294億1367万7千円



保健福祉部
子ども家庭部
教育委員会事務局
政策経営部
都市整備部
区民生活部
総務部
環境部

健康医療、地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉等
子どもの権利、児童相談、児童福祉、子育て支援、保育等
学校教育、生涯学習、図書館等
施設マネジメント、公民連携、デジタル化等
まちづくり、道路、鉄道立体交差、公共交通、公園、住宅等
地域産業、地域振興、多文化共生、ジェンダー、スポーツ等
防災・防犯、人権、広報、職員人事、契約等
気候変動、脱プラ、清掃、リサイクル等



来年度の予算について、今年度の取組状況を確認しながら、どうしてこの事業が廃止なのか、なぜこの金額が必要なのか、新しい事業はどういう目的で行うのかなどを議論するのが予算特別委員会です。分野ごとに日にちを分けて審議を行い、議員全員で議論をします。各分野につき一人6分の持ち時間で質疑を行います。会派を組んでいれば話し合わせた時間を少ない人数で割ることができます。

私の質疑を受けて他の会派の人がそれぞれの観点から議論をさらに深めてくれたり、私も他の議員の質疑を受けて質問を変えたり、さらに掘り下げたりしています。

よとく! 行政答弁の豆知識

検討します…実施に向けて動き出す
研究します…やるかどうかも含めて考えます



歳入

質疑の動画 ▶



『困難な問題を抱える女性の支援に関する国庫補助金』

Q 今年度は10万3千円、来年度は315万8千円で申請予定となっており大幅な増額。来年度は補助を活用して女性相談調整担当係長の職が新たにできて体制を強化すると聞いたが、どう変わるのか。

A 複雑化する相談内容にもワンストップで対応できるようにしていくため、職員の研修を充実させスキルアップを図るとともに、(保健福祉部内だけでなく)区民生活部、子ども家庭部とも連携する道筋をつくっていきます。

『多文化共生のまちづくり助成金』

Q 杉並区として初めて申請したこの助成金。多文化共生基本方針ができた杉並区で、こういった取組に利用していくのか。

A 日本国籍、外国籍の区民が交流する場をつくります。来年度は交流自治体へ行き農業体験を行い、収穫した野菜などを地域のお祭りで販売し、地域の中で共に生きていくために繋がるきっかけをつくる企画で助成金の申請をしています。

保健福祉費・環境清掃費

質疑の動画 ▶



『子どもの権利に関する条例』

Q この間のワークショップは小学生以上がメインだったが、0～6歳の乳幼児についてもすべての権利の対象のはず。乳幼児にはどのように子どもの権利を知らせ、どのように意見を聴くのか。

A 乳幼児期の子どもの意見を聴くことは、国連も指摘しているものと認識しており、大変重要だと考えています。まずは他自治体の先行事例を研究し、研修も重ねながら、どういったやり方が良いか検討していきたいと思っています。

『子どもの居場所』

Q 児童館には中高生委員会があり、その活動には今年度と来年度同様の予算がついていますが、今年どんなことをしてきて、来年度はどんなことをするのか。

A 今年度は通常の活動に加え、委員から提案があり「児童館が中高生にとってより良い場所になるにはどうするか」といったテーマで、解決策を考えて区に提案を行う取り組みが行われました(1年かけて調査・研究し、3月初旬に区長にプレゼンしています)。来年度も、そこに参加している中高生の意見を大事に尊重して、活動をつくっていきたいと考えています。

生活経済費・総務費

質疑の動画 ▶



『防災と共生』

Q 日常的な防災の取組と震災救援所内での多文化共生の観点での取組について、これまでどんな協議があり来年度はどういった取組を行うのか。

A 国際交流協会と協議を重ね、これまでも外国の方向けまち歩きイベントで起震車を活用したり、外国学校へ防災課職員が出前講座に行ったりしてきました。こうした取組を、工夫しながら続けていきます。

Q 震災救援所での合理的配慮に関してどのように当事者と関わってマニュアルなどをつくってきたのか。来年度各機関との連携を強化する中で、福祉や医療の機関との連携はどう強化していくのか。

A 先日も聴覚障害者団体の方と意見交換をし、「こうした方が良い」という意見をいただきました。当事者からの意見は重要と捉えています。消防や警察だけでなく、医療や福祉関係の機関とも図上訓練などを行えるよう研究していきたいと考えています。

『施設マネジメント計画』

Q 富士見ヶ丘中学校の改築完了後すぐに、旧富士見ヶ丘小学校の北側校舎だけでなく、体育館も解体されることが計画に追記された。地元からは防災備蓄や避難についての不安も聞いているが、説明はどうなっているのか。

A 小学校の移転については合意を得ていたが、解体については説明できていなかったところがあります。地元町会など関係する方々にはこれから説明してまいります。

谷川俊太郎さんが名誉区民になりました

谷川俊太郎さんってどんな人？

2024年11月にご逝去された谷川俊太郎さんは1931年、当時は東京府豊多摩郡杉並町と呼ばれていた今の杉並区で生まれ育った詩人です。中学生の途中で山の手空襲に遭い、京都へ疎開し、戦争が終わった次の年に再び杉並に戻ってきました(通っていたのは豊多摩中学校、今の都立豊多摩高等学校です)。その後、詩集の刊行、記録映画の脚本、外国の絵本や漫画の翻訳、歌詞の作詞など、様々な仕事をされています。杉並区立沼小学校の校歌「世界は不思議でいっぱいだ」も谷川さんが作詞したものです。

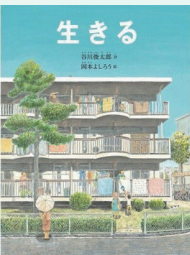
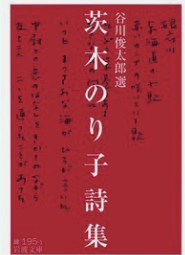
名誉区民って何？

名誉区民とは、杉並区の発展やそのほかの公共の福祉の増進、学術や芸術など、広く社会文化が盛んになっていくことに貢献した人で、区民からも尊敬されていると認められるとき、その功績をたたえて、区長から贈る称号です。区長は審議会で意見を聴き、そのあと区議会にも同意を求め、同意されたら贈ることができまます。(杉並名誉区民条例より)

作品を紹介します



区立図書館にコーナーが設置され改めて作品に触れた方も大勢いると思います。私の大好きな谷川俊太郎さんがかわる作品をご紹介します。



- ①『谷川俊太郎選 茨木のり子詩集』(岩波文庫)
- ②『生きる』(福音館書店) / ③『その世とこの世』ブレイディミカこ氏との往復書簡(岩波書店)
- ④『じぶんだけのいろ』さく・レオ=レオニ(好学社) / ⑤『うつむく青年』(サンリオ)



議長室での動議提出の場面

懲罰動議とは…?

区議会は、議員がそれぞれの専門性や知識を活かし、区政を批判的に考察して、区民のために必要なこと、もっと良くなる方法などを調査・研究し、言論によって議論を深める場です。しかし、第一回定例会の一般質問において、演台を強くだたいて理事者を威圧した議員がいました。私も目の前で目撃し、とても恐怖を感じました。

議長が2度注意を行いましたでしたが反省の様子になかったため、議員48名のうち私たち立憲民主党杉並区議団も含めた21名が発議者となり、懲罰動議を提出しました。今定例会では委員会の立ち上げを行い、第二回定例会までの間に何度か審議をしていく予定です。



令和7年2月21日

杉並区議会議員 井口かつ子 殿

田中ゆうたろう議員に対する懲罰動議

次の理由により、田中ゆうたろう議員に懲罰を科されたいので、地方自治法第135条第2項及び杉並区議会会議規則第111条の規定により動議を提出します。

記

理由

令和7年2月19日の杉並区議会第1回定例会本会議、田中ゆうたろう議員の一般質問において、壇上大声を上げ、机を叩いて大きな音を出すなど理事者を威嚇する行為がありました。

よって、杉並区議会会議規則第104条「議員は、議会の秩序及び品位を重んじなければならない」に抵触しており、懲罰を求めるものであります。

発議者	杉並区議会議員	ひわき岳	山田耕平	松本みつひろ	倉本みか
	赤坂たまよ	富田たく	田中朝子	ブランシャール明日香	
	前山なおこ	小池めぐみ	鈴木ちづる	松尾ゆり	
	松本浩一	和氣みき	奥田雅子		
	安田マリ	酒井まさえ	そね文子		
	てらだはるか	くすやま美紀	山名かなこ		

地方自治法に定められた手続きの流れ

1. 懲罰動議の提出
2. 懲罰特別委員会の設置
3. 委員会で懲罰の種類を決定
4. 懲罰を科すかどうかを本会議で採決
5. 懲罰の執行

懲罰の種類

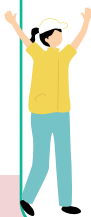
- 戒告
本会議場で、懲罰の対象者が議長の前に立ち、議長から警告を受ける。
- 陳謝
本会議場で、懲罰の対象者が謝罪を行う。
- 一定期間の出席停止
杉並区は最長7日間、議会での仕事ができない。
- 除名
議員名簿からの除名、失職。(次の選挙には出られる)

パブコメ募集中

3月15日～4月14日

● 子ども家庭計画の改定

今回の改定は定期的な見直しによる改定ですが、子どもの権利条例に基づくアップデート、子どもの居場所づくり基本方針に則った地域ネットワークの強化、2026 年秋に開設予定の区立児童相談所の取組など、見直しポイントがたくさんあります。改定後の計画は 2025 ～ 2030 年度の計画ですが、この 5 年の間に若者へのサポートなども検討され、途中で「子ども家庭計画」から「こども計画」へとさらに進化を遂げる予定です。議会では「子どもからも意見が欲しい」という話もありました。ぜひご意見書いてみてくださいね！



● 区政報告会のお知らせ

レポートには書ききれないこともお話しするとともに、みなさんの暮らしや望むことについてお聞きする機会でもあります。ぜひお気軽にお越しください！

4月12日(土) 16:15～18:15

@高井戸地域区民センター第3集会室

〒168-0072 東京都杉並区高井戸東3丁目7-5

4月20日(日) 12:45～14:45

@久我山会館 第1集会室

〒168-0082 東京都杉並区久我山3丁目23-20

予約不要
直接お越し
ください

各回定員
20名

W
E
L
C
O
M
E



寺田陽香
てらだはるか

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室

▶1987年生まれ ▶群馬県高崎市出身 ▶高崎女子高校卒業
▶国際基督教大学(ICU)中退 ▶音楽(ドラム、打楽器、ギター、歌)
保育士 ▶好き: スケボー、お茶、茨木のり子 ▶3.11を機に、子ども
たちにどんな未来を渡したいか、自分の大人としての責任を考え始め、
市民運動に参画 ▶2023年4月、3,906票を託され初当選

☎070-1385-3043

✉teraharu.minnanomachi@gmail.com